

第3学年社会科学習指導案

日 時 平成28年10月7日(金) 5校時
学 級 3年3組(男子17名 女子16名 合計33名)
場 所 3年3組教室
指導者 平 澤 晋

1 単元名

公民的分野 第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治

2 単元の目標

- (1) 身近で具体的な事例を通して政治に関心を持たせ、主権者として政治に積極的に関わろうとする意欲と態度を育てる。 【関・意・態】
- (2) 選挙をはじめとする国民の政治参加によって、より良い民主政治が運営されることに気づかせ、良識ある主権者としての政治参加の在り方について考えさせる。 【思・判・表】
- (3) 新聞記事や統計資料など、日本の政治に関する資料を適切に収集・選択させ、現実の政治の動きを多面的・多角的に捉えさせる。 【資】
- (4) 議会制民主主義の意義や、国会を中心とする国政のあらまし、地方自治の考え方について理解させる。 【知・理】

3 単元について

本章は中学校学習指導要領社会科公民的分野の大項目「(3) 私たちと政治」の「イ 民主政治と政治参加」に該当し、日本の民主政治について扱っている。章全体の構成は、日本の民主政治の中心である国の政治から入り、地方の政治へと展開させ、「身近な地域での政治参加」へと収斂させることで、社会参画の意識を育むことができるように構成している。1節では、日本の民主政治の基礎的な原理や制度として、民主主義と選挙、政党政治、メディアリテラシーなどについて取り上げた。平成28年7月10日実施の参議院選挙から選挙権年齢が満18歳に引き下げられたことを念頭に、主権者意識を育みたい。

政治単元の学習は、生徒にとって身近に感じにくいと考えられる。そこで、工場の跡地利用を争点とする市長選挙を設定し、一市民の立場で企業の跡地利用を公約に掲げる4人の候補者から市長を選ぶ活動を通して、政治の意義について考えられるようにしていきたい。

(1) 生徒観

生徒たちは、これまでの地理的分野と歴史的分野の学習では、生徒が知識を関連づけ、構造立てしながら社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察できる育成に重点をおいてきた。それらを基盤としながら、社会の問題を解決し、よりよい社会を目指そうとする社会参画の力を培いたいと考える。

公民的分野の学習において、私たちが生きる現代社会と文化についての学習を通じて、多様な価値観が尊重される自由で民主的な現代社会の特色を概観してきた。これをうけて、個人の尊重の考え方や法の意義について基本的人権や日本国憲法の役割を中心に追究してきた。その中で、第1章3節において物事を決定する際には、問題の発生から解決までの中に「対立」と「合意」という流れがあること、及び自分たちが考えた解決策には「効率」や「公正」という視点があることを意欲的に学習してきた。この視点をいかし、主権者として政治に対する関心を高めさせていきたい。

(2) 指導観

指導に当たっては、作業的・体験的な学習活動を行わせることで、興味を持って学習に取り組めるようにする。また、政治は、人々の様々な願いや意見を実現するだけでなく、対立を調整するという重要な役割も持つことから、4人の候補者に異なる主張させるだけでなく、6人の市民の声にも目を向けさせ、候補者と市民という、異なる立場の多様な意見の調整に取り組めるようにしたい。各候補者の案は、建設費用が大きく異なる。X市の状況を踏まえて、「効率」(予算を無駄なく使い、市民の満足の全体量を増やすこと)と「公正」(市民の多様な利害に配慮すること)の観点を踏まえた案となっているか、よく検討させたい。

そのためには、他者との関わり合う学習が不可欠である。生徒たちには、個々で考えるプロセスも大切にしながら、本校研究主題でもある「学び合い活動」を通じ、自分だけでは気づくことのできなかつた視点や主張を知り、みんなで思考を練り上げていく学習を大切にしていきたいと考えている。

4 単元の指導計画・評価規準

ア 単元の評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ● 議会制民主主義や多数決の原理について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ● 選挙をはじめとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気づき、望ましい政治参加の在り方について、資料の読み取りや話し合いなどを通して多面的・多角的に考察し、自分の考えを分かりやすく表現している。【社会的な思考・判断・表現】 ● 最近の選挙に関する話題や各政党の政権公約などについて、新聞やインターネットなどを活用して資料を収集・選択し、複数の資料を比較したり、課題に即して読み取ったり、適切にまとめたりしている。 ● マスメディアの世論形成への影響力とメディアリテラシーの重要性について理解し、新聞記事などのマスメディアの情報を読み取る際に、複数の情報を比較するなど、様々な角度から批判的に読み取っている。【資料活用の技能】 ● 多数決の原理とその運用の在り方、選挙制度、政党や世論の役割などについて理解し、その知識を身につけている。 ● 政治や議会制民主主義、政党政治の考え方や意義について理解している。【社会的事象についての知識・理解】 	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な生活と政治との関わりに関心を持ち、政党の役割や選挙の仕組み、現代日本の民主政治の課題について意欲的に追究している。 ● みんなで話し合い、決定するという民主主義の基本的な考えに立ち、積極的に話し合いに参加している【社会的事象への関心・意欲・態度】
--	---

イ 指導計画と各時の評価規準（6時間扱い）

時間	学習活動	評価規準			評価方法
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	知識・理解・技能	
1 本時	・市長選挙の各候補者の政策を市民の立場から分析する活動を通して、政治について関心を持つ。	・政治に対して関心を持ち、学習に意欲的に取り組んでいる。	・市の課題を踏まえ、課題解決や将来の展望について、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、発表している。		発言 ワークシート
2	・民主主義とは何か、なぜ議会制民主主義が採用されるのか、独裁政治や専制政治との比較などを通して理解する。		・民主主義の考え方が大切であることを、歴史的な経緯を踏まえて考え、適切に表現している。	・議会制民主主義において、多数決の原理と少数意見の尊重が重要であることを理解している。	発言 ノート
3 4	・選挙は政治参加の重要な機会であることを理解し、具体的な作業を通して、選挙制度のあらましを理解する。		・選挙に関する課題について、有権者や立候補者、選挙制度などの様々な視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・選挙の意義と日本の選挙制度のあらましについて理解している。	ワークシート
5	・政党が国民と議会を結び付ける役割を果たしており、民主政治において重要な存在であることを理解する。	・現在の日本の政党政治の動向や課題について意欲的に調べ、関心を高めている。		・政党の役割について、具体的な事例に基づいて理解している。	発言 ノート
6	・世論形成におけるマスメディアの役割を理解し、世論形成のためにマスメディアや国民一人一人はどうか考える。		・新聞記事の構成や内容を比較し、気づいたことや考えたことを適切にまとめ、発表している。	・課題に沿って新聞記事を収集・選択し、その内容を的確に読み取っている。	発言 ノート

5 本時の指導

(1) 目標

・政治が身近なものであることや、主権者として政治に積極的に参加することが大切であることに気づき、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、発表する。

【思考・判断・表現】

・市長選挙の各候補者の政策を市民の立場から分析する活動を通して、政治について関心を持つ。

【関心・意欲・態度】

(2) 展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点 ○教師の指導 ◎評価 ☆支援が必要な生徒への配慮
つかむ 3分	1 本時の学習内容について把握する。	○本時の学習の内容を説明する。
見通す 2分	2 授業の見通しを確認する。	○自力で考え、グループ・全体で交流することを確認させる。 ☆活動の手順を明示する。
深める	3 資料1～3のX市のデータと「市民の声」を読み、場面を把握する。 4 グループごとに支持する候補者を考える。(B)	○花巻市の人口と比較させ、X市のイメージを持たせる。 ○4人グループで、司会・記録・発表・道具の係を決めて候補者の案を検討させる。 ◎候補者の案について、市の課題を踏まえ、課題解決や将来の展望について、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察する。 ☆資料を絞り込んで理由を考えさせる。
広げる	5 グループで考えた候補者を支持する理由を発表する。(E)	○どのグループの発表が説得力があったかメモを取らせながら発表を聞かせる。
40分	6 話し合いと発表を踏まえて、A～Dの候補のうち誰を支持するか、改めて自分の考えをまとめる。	○4から意見が変わった生徒には、その理由を明らかにさせる。 ◎政治に対して関心を持ち、学習に意欲的に取り組んでいる。 ☆効率の観点（無駄・満足）から考えさせる。
振り返る 5分	7 本時の学習を踏まえて「私たちの願いや意見を政治にいかすために、どのようなことを考えなければならないか」についてまとめる。	○発表させて本時のまとめとする。